

千葉地区における事故と 今後の防災体制について

昨年末から年初にかけて、当所千葉地区において災害が相次ぎました。これらのことを重く受け止め、重大トラブル撲滅に向け、グループ・協力会社を含めた再発防止、一層の安全・防災管理体制の充実に、全力を尽くさねばなりません。

当所千葉地区において、昨年12月2日のJFEケミカル硫酸タンクの爆発事故、12月6日の物流倉庫での火災に続き、本年1月6日にコークス炉発煙トラブルが発生しました。

これにより、社員や社員の家族の皆様はもちろんのこと、地元住民の皆様、行政関係当局、ならびに関係各方面の方々に多大なるご迷惑およびご心配をおかけしました。

1月16日、千葉市から、原因の徹底的な究明と設備の総点検を行い、再発防止に向けて抜本的な対策を講じるよう指導を受けました（※1）。当所としましては、トラブルを連続して発生させてしまった事実を真摯に受け止め、当局のご指導を仰ぎながら原因の究明と対策を図ってまいります。また、防火防災につ

いては、グループ・協力会社を含めた再発防止、一層の安全・防災管理体制の充実に全力を尽くすために、専従者を含めた特別プロジェクトチームを編成して、重大トラブル撲滅に向けた特別活動を開始しました。当プロジェクトチームにおいては、外部の有識者のご意見を聞きながら、防災システム・設備を徹底的に見直して行きたいと思えます。

安全防災は企業存立のための基本です。当所が地域の皆様に信頼され、地域と共存できる製鉄所となるよう、この特別活動に鋭意取り組んでいただきたくよろしくお願ひします。

東日本製鉄所長

丹村洋一

※1：千葉市からの指導書の内容

事故の再発防止及び安全管理の徹底について（平成24年1月16日）

1. 事故の発生原因を徹底的に究明し、設備の総点検を行うこと
2. 事故再発防止に向け、組織体制の強化を図ること
3. 操業過程全般の安全対策、バックアップ体制を拡充すること
4. 事故発生時には、地域住民の不安を解消できるよう十分な情報を速やかに提供すること

東日本製鉄所(千葉地区)防災特別プロジェクトチームの体制について

1. 体制

東日本製鉄所長直轄の組織として、防災特別プロジェクトチームを1月19日付で設置しました。

- ① 19日付で専従者7名を配置しており、今後20名程度に増強する予定です
- ② 外部有識者の視点で検証を行うため、オブザーバーとして数名を配置する予定です
- ③ 本社関連部門が全面的にバックアップする体制を構築します

2. 活動内容

当プロジェクトチームは

- ① 事故の発生原因を徹底的に究明し、設備の総点検を実施すること
- ② 事故再発防止を徹底するため、組織体制を強化すること
- ③ 操業過程全般の安全対策、バックアップ体制を拡充すること
- ④ 事故発生時に、地域行政・住民の皆様へ速やかに情報提供できる体制を整備すること

を目的として、千葉地区全設備につき、防災上のリスクを再評価し、防災機能の強化策を検討・立案した上で、保安機能の更なる健全化を図ってまいります。

防災特別プロジェクトチームの体制

